

THE UNIVERSITY OF OSAKA

CAMPUS MASTER PLAN 2024

大阪大学 キャンパスマスタープラン



2024年(令和6年)版
大阪大学 サステイナブルキャンパスオフィス
The University of Osaka Campus Sustainability Office

大阪大学
キャンパスマスタープラン
2024

目次

第1章 キャンパスマスタープランのコンセプト

1-1. キャンパスマスタープラン策定の経緯と位置付け	・・・	1. 1
1-1-1. はじめに	・・・	1. 1
1-1-2. 主要キャンパスの概況	・・・	1. 6
1-1-3. これまでのキャンパス計画の経緯	・・・	1. 8
1-1-4. キャンパスマスタープランの必要性	・・・	1. 9
1-2. キャンパスマスタープランのコンセプトとその達成手法	・・・	1.10
1-2-1. キャンパスマスタープランの目標・基本方針	・・・	1.10
1-2-2. キャンパス整備の対象と経費	・・・	1.11
1-2-3. キャンパスマスタープランの達成手法	・・・	1.12
1-3. キャンパスマスタープランの内容・構成	・・・	1.13
1-3-1. キャンパスマスタープランの内容・構成	・・・	1.13
1-3-2. キャンパスマスタープラン作成と運用・更新の流れ	・・・	1.14

第2章 キャンパスの伸ばすべき個性と空間像

2-1. 豊中キャンパスの個性と空間像	・・・	2. 1
2-2. 吹田キャンパスの個性と空間像	・・・	2. 1
2-3. 箕面キャンパスの個性と空間像	・・・	2. 2
2-4. 中之島センターの個性と空間像	・・・	2. 2

第3章 キャンパスマスタープランに対する期待と評価検証

3-1. キャンパスマスタープラン策定作業時の調査・意見集約 (2004 (平成 16) 年度 (豊中・吹田))	・・・	3. 1
3-2. その後の関連する各種調査	・・・	3. 5
3-2-1. 交通安全アンケート (2010 (平成 22) 年度)	・・・	3. 5
3-2-2. 第 24, 25 回学生生活調査 (2018 (平成 30), 2022 (令和 4) 年度)	・・・	3. 6
3-2-3. 留学生生活調査 (2010 (平成 22) 年度)	・・・	3. 9
3-2-4. キャンパスイメージアンケート (2022 (令和 4) 年度)	・・・	3.10
3-3. 2015 (平成 27) 年度および 2023 (令和 5) 年度の評価・点検	・・・	3.13
3-4. 期待と評価検証のまとめ	・・・	3.16

第4章	ゾーンおよび骨格・核の構成	
4-1.	豊中キャンパスの空間像	4. 1
4-2.	吹田キャンパスの空間像	4. 6
4-3.	箕面キャンパスの空間像	4.11

第5章	持続可能性と防災のマネジメント	
5-1.	2050年カーボンニュートラルを目指したキャンパスの省エネルギー・脱炭素化	5. 2
5-1-1.	省エネルギー・脱炭素化推進の状況と方向性	5. 2
5-1-2.	大阪大学エネルギーマネジメント中期目標・基本方針	5. 3
5-1-3.	大阪大学モデル ZEB の推進	5. 4
5-1-4.	遠隔管理による空調設備エネルギーマネジメント	5. 5
5-1-5.	空調・換気、照明設備の実態把握	5. 6
5-1-6.	エネルギーマネジメント発展の鍵である産学連携	5. 6
5-1-7.	今後の展望	5. 7
5-2.	施設稼働率の向上と総量の適正化を目指す点検評価マネジメント	5. 8
5-3.	長寿命化へ向けた施設やインフラの維持管理マネジメント	5. 8
5-4.	災害に備えるマネジメント	5.12
5-5.	開発限界と長期的な建て替え更新の考え方	5.13
5-5-1.	全般的な建て詰まりの状況	5.13
5-5-2.	大規模な建て替え更新の可能性	5.15
5-5-3.	集約化と施設総量の適正化による維持管理コストの低減	5.16

第6章	自然資源の継承と形成	
6-1.	全体の緑のコンセプト	6. 1
6-2.	各キャンパスの考え方	6. 2
6-3.	埋蔵文化財について	6. 4

第7章	すべての人が安全に快適に移動できる環境の形成	
7-1.	交通ネットワークにおける問題点の整理	7. 1
7-2.	豊中キャンパスの交通ネットワーク	7. 3
7-3.	吹田キャンパスの交通ネットワーク	7. 8
7-4.	箕面キャンパスの交通ネットワーク	7.12
7-5.	これからの交通ネットワークについて	7.13

第8章	空間計画の達成手法	
8-1.	キャンパスコモンの整備方針の全体像	8. 1
8-1-1.	キャンパスコモンの整備構想（リーディングプロジェクト）一覧	8. 1

8-1-2.	キャンパスライフを充実させるための福利厚生や課外活動の施設 および宿舎施設等の考え方	・・・	8. 9
8-2.	キャンパスコモンの整備（リーディングプロジェクト）の各構想	・・・	8. 15
	(LDP. T/S-1) キャンパスライフコアの形成（共通）	・・・	8. 15
	(LDP. T-2) 豊中キャンパスのシンボル空間の形成（豊中）	・・・	8. 17
	(LDP. T-3) 待兼山博物館・周辺環境の整備（豊中）	・・・	8. 19
	(LDP. T-4) 柴原通り周辺の空間再編（豊中）	・・・	8. 21
	(LDP. T-6) キャンパス中央部へのバスロータリーの建設（豊中）	・・・	8. 23
	(LDP. S-2) 吹田キャンパスのシンボル空間の形成（吹田）	・・・	8. 25
	(LDP. S-3) 千里門周辺環境整備（吹田）	・・・	8. 27
	(LDP. S-4) 理工学図書館前オープンスペースの再生（吹田）	・・・	8. 29
	(LDP. S-5) 小野原口の交通環境改善（吹田）	・・・	8. 31
	(LDP. S-6) 千里門～西門府道交通環境の改善（吹田）	・・・	8. 32
	(LDP. S-7) 银杏会館南側の新たな東西歩行者動線の形成（吹田）	・・・	8. 34
	(LDP. S-8) 北口の活用と近傍への店舗誘致（吹田）	・・・	8. 35
	(LDP. S-13) 万博記念公園との接続（吹田）	・・・	8. 36
	(LDP. S-14) キャンパス南側への拡張と課外活動施設の再編等（吹田）	・・・	8. 37
	(LDP. S-17) キャンパスの緑地環境の改善（吹田）	・・・	8. 38
8-3.	デザインガイドライン	・・・	8. 39
	8-3-1. デザインガイドラインの枠組み	・・・	8. 39
	8-3-2. 建物（新営・増改築・改修）のデザインガイドライン	・・・	8. 40
	8-3-3. オープンスペースのデザインガイドライン	・・・	8. 42
	8-3-4. ユニバーサルデザインと日常の安全・安心	・・・	8. 44
	8-3-5. 多文化・多言語への対応	・・・	8. 46
	8-3-6. 豊中キャンパスでの適用	・・・	8. 49
	8-3-7. 吹田キャンパスでの適用	・・・	8. 51
	8-3-8. 計画のプロセスと要点	・・・	8. 57
8-4.	多様な参加を促すマネジメント	・・・	8. 61
	8-4-1. サポート型（参加・提案型）の取り組みと 地域・社会等と連携する取り組み	・・・	8. 61
	8-4-2. キャンパスのマネジメントとして特に強化すべきこと	・・・	8. 63

第9章 今後の課題

9. 1.	建物・インフラの老朽化と更新	・・・	9. 1
9. 2.	キャンパスの建て詰まりと将来更新	・・・	9. 2
9-3.	医学部附属病院再開発	・・・	9. 2
9-4.	生物多様性の保全	・・・	9. 3
9-5.	キャンパスのスマート化	・・・	9. 3
9-6.	広報とユーザー参加による点検評価（アンケート等）の強化ならびに 地域との連携	・・・	9. 4
9-7.	キャンパスの通学・通勤・移動に関する課題	・・・	9. 4

コラム目次

Column 1	世界のキャンパス (1)	1. 15
～	本学の参考になりやすい代表的な米国型キャンパス	
Column 2	世界のキャンパス (2)	2. 17
～	フレームワークプランによる魅力的なキャンパス環境形成	
Column 3	世界のキャンパス (3)	3. 19
～	土地建物の有効活用とヒューマンスケールのキャンパスづくり	
Column 4	大学キャンパスをとりまくサステナビリティの潮流	4. 13
～	省エネ・省資源から社会全体のサステナビリティへ	
Column 5	文部科学省の施策と本学のキャンパスマスタープラン	5. 18
Column 6	キャンパスづくりへの多様な主体の参加	5. 19